

## 論文英語 III (各1単位)

担当者氏名 林 隆久・吉川博文・新村洋一・河野友宏・矢嶋俊介・喜田 聡・千葉櫻 拓・坂田洋一・川崎信治・小川英彦・尾畑やよい・太治輝昭・渡辺 智

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

バイオサイエンス各分野の研究を行う上で、英語論文を読み理解することは、その分野における情報を得るのみならず、研究動向の最新情報を得ることができる。さらに研究成果を公表する書き方を学ぶ上で不可欠である。

論文英語IIIでは、各自の研究主題に関する最新論文の理解と読解力の向上を目的として、①各自の研究内容に即した論文調査の実践、②英語論文の読解力の向上、以上を目的とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

英語科学論文学                      分子生物学                      遺伝学                      細胞生物学

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学術論文 1	論文読解の重要性について	論文英語IIの理解。
2	学術論文 2	各自の研究内容に即した論文調査の実践と選択	選択した論文を
3	学術論文 3	選択した論文の輪読、理解度の把握 (1)	和訳してくる。
4	学術論文 4	選択した論文の輪読、理解度の把握 (2)	
5	学術論文 5	選択した論文の輪読、理解度の把握 (3)	
6	学術論文 6	選択した論文の輪読、理解度の把握 (4)	
7	学術論文 7	選択した論文の輪読、理解度の把握 (5)	
8	学術論文 8	講義内容の総括	輪読内容の復習。

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

特になし

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

特になし

## ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

演習科目であることから、毎回の出席を重視し、訳等の事前準備と理解の総合評価とする。

## ◆オフィスアワー

担当教員の所属研究室にて、随時対応する。面談等の必要性があれば、講義の際に面談時間を打ち合わせる。

## ◆その他受講上の注意事項

毎回、十分な下調べを行うこと。